

はしかみかわら版 第3号 (平成23年8月)

ふるさととはしかみ会の皆様

～内城会長よりメッセージ～

暑中お見舞い申し上げます。

どんなに時がたっても忘れることの出来ない、東日本大震災で被災された、多くの方々のご冥福をお祈りいたします。

広がる放射能汚染の影響と連日の猛暑と重なり、被災者の皆様も我慢の限界ではないかと思うと胸が痛みます。

一方で被災を受けた方々の復興の報に接する度に、安堵の胸をなでおろしています。

スポンジ協賛のわが階上町の「アイナメ釣り大会」は苦難を乗り越えて開催までこぎつけ「出来ることからやらなくて」という坂下船長の言葉に復興への固い決意で大災害をもたらした豊稔の海へ、高いうねりへ果敢に繰り出す、参加者の歓声が聞こえてくるような光景が浮かんで参ります。

昨年の七月二日発起人会から偶然にも同じ日に「いちご煮祭り」で「東京」が開催されました。これまでの友好団体はじめ多くのご参加を頂き、夜遅くまで盛り上がりました。「おいしい」の言葉をたくさん頂きました。

当会の理事でもある「町家・遊膳」川向店長の快諾に心から感謝いたします。

また、浜谷町長、木村町会議長のお二方には、震災の復興公務ご多忙な中ご参加いただき、町の「ふるさ」有難うございました。

機会があること「ふるさと」はしかみ会」の「ふるさ」活動がいつの日か実を結び、会員の皆様や町へ元気を送り届けられる日を信じて、会員一同頑張っております。

十一月十九日総会＆ふるさととはしかみ交流会でお会いしましょう

「いちご煮祭り」で「東京」のご報告

7月2日に門前仲町(町家・遊膳)にて「いちご煮祭り」で「東京」を開催しました。階上町出身者のほか、総勢63名が参加し、階上町からは浜谷町長、木村議長が来賓として出席されました。



川向理事が店長をされている、町家・遊膳を貸切り、最後の集合写真

会員の紹介 若山静江さん

「思いがけないプログラム」

若山静江 62歳・榎セントラル勤務・東京都豊島区在住

よい友人は困難な時も一緒にという諺どおり、1985年設立マルチタレント合唱団は、東京より訪問する国府台合唱団とともに慈善コンサートをを行う予定ですと、「思いがけないプログラム」の見出しで、地元紙に大きく掲載されました。高校から始めた混声合唱団活動で、3度目のドイツ演奏旅行(2011.5.16～6.3)に30名で参加してまいりました。国府台混声合唱団に高校生のご入団145年目に入りました。入団以来の仲間と、3度目のドイツでの演奏会に参加出来る事は家族と勤務先の理解に感謝しております。ニルンベルクの演奏会、小学校訪問、マルチタレントの演奏会では東日本大震災に対して多額の義援寄付金を頂いてまいりました。

日本以上にドイツ国内での災害に対する反響の大きさに驚き、ドイツの人々の温かさや素晴らしい友人達との出会いの演奏旅行でした。

Section: KULTUR UND FREIZEIT IN NÜRNBERG. Sub-section: Einstimmung auf Blauer Nacht. Vielstimmiger Chor aus Japan zu Gast in der Stadt. Includes photos of a choir performing and a man playing a guitar. Text describes the choir's performance and the event's atmosphere.

大江果樹園で採れた100%ストレート山ぶどうジュースで創る創作カクテルです。酸味が強く、野性味あふれるこのジュースは実はほんのりキュールに合うんですね。

簡単なところでは、ディタリキュール(ライチ)1に対して山ぶどうジュース3、氷を入れてステアし出来上がり。簡単にしてとてもおいしいカクテルです。カシスで合わせてもおいしいですよ！

写真の山ぶどうカクテル「ハシカミ」はエレガントなおとなの味です。組み合わせは簡単！

シェイクンして冷やしたカクテルグラスに注ぐ瞬間が貴方の夜の始まりです。



ラム	50ml
山ぶどうジュース	30ml
シュガーシロップ	10ml

山ぶどうカクテル「ハシカミ」

ウニと鱧のキュウリモみ



今回は暑い夏を涼しくサッパリといただく一品です。夏の階上といえばウニをはずすことは出来ません。階上に帰ると塩ウニときゅうりをみたくのがこの上もない楽しみでした。そこで夏の王様、鱧(はも)ときゅうりのウニ和えを創ってみました。使う塩はモンゴルの岩塩です。

- ①モンゴルの岩塩で、たて塩(味を調えた塩水)を作ります。小口にスライスしたキュウリに出汁昆布を加えたたて塩に着け、しんなりするまで置きます。
 - ②生ウニはたて塩に着けて30分ほど冷蔵庫に入れます。あまり塩辛くないこと。
 - ③鱧は三枚におろし骨切りした後、熱湯でさっと洗い冷水に取り水気を取ります。赤梅肉を煮切味酢とお酒でゆるめにのばし、さっと和えます。きれいな赤ピンク色に染まります。
 - ④茗荷は細い千切り、新生姜は小さな霰(あられ)に包丁し、水にさらした後水切りしておきます。
 - ⑤しんなりしたキュウリをかためにしぼり、薄塩に味がよく盛付け鱧梅肉を乗せ、霰新生姜を上から振り千切りの茗荷を添えます。
- ※ポイントはたて塩の濃さ、好みで加減してください。

郷土料理の紹介コーナー(町家にて・)

新コーナー

ふるさと訪問記

「いちご煮のふるさと」、階上町を訪ねて(2011年8月8日) 宇賀神弘忠 68才 PR エンジニアリング 株式会社 千葉県千葉市花見川区在住

※郷土料理紹介コーナーのメニューは、当会の川向理事のお店(町家・遊膳)にてオリジナル料理として創作された内容をご紹介しております。当店メニューとして召し上げられますので、ご来店下さい。

内城会長の推薦で、「ふるさとのはしかみ会」に入会しましたが、階上町がどんなところか全く知らないままでした。

青森県といえば、過去(15年前)に仕事の関係で三沢市・六ヶ所村に3年間ほど毎月のように通いましたが、冬の地吹雪、やませの被害で田んぼの稲穂が収穫時期でも立たたままだったこと、そして春には、各家庭の庭の花々がいつせいに咲くこと等を記憶しています。

3月の東日本大震災で「階上町」が津波の被害を受け、ふるさと会で支援しようと言うことで、義援金を集めたり、「東京いちご煮祭り」を開催したりとふるさと会の皆さんが一生懸命に頑張っておられる傍らで手伝いをしながら皆さんとのコミュニケーションを深めてまいりました。

この度、所用で青森県三沢市に出張することに成り、是非とも「階上町」をこの目で見てみたいと思いつき、一人で行って見ることにしました。ところが、その予定を知った内城会長そして濱谷事務局長の御尽力により、濱谷町長にお会い出来ることに成りました。私としては、町長にお会いしてご挨拶をと思っておりました。

約束の時間前に到着して、待合せ場所の「道の駅・階上」の中を眺めていましたが、生鮮食品のコーナーやソフトクリーム販売店は、賑わっていました。そうこうするうちに、約束の時間少し前に「濱谷町長」が道の駅に入ってこられて直ぐにお会いすることが出来ました。お会いできたので、ご挨拶してお別れしようと思っておりましたところ、町長が自分の車で町内を案内したいとの申し出があり、休日の



道の駅・階上(11:10)

貴重な時間を申し訳ないとお断りしましたが、「プライベートな時間だから問題ない」とおっしゃるので、御厚意に甘えることにしました。早速、道の駅から国道45号線を階上町役場手前で左折、緑豊かな中を大蛇駅方面へ向い、大蛇漁港を先ず訪問、瓦礫こそありませんが、津波の爪痕が未だに残っており、壊れた建物の修理が進められていました。

特に目を引くのが、岸壁に積み上げられたフレコンバック(繊維製の袋)で、町長の説明では、湾内にたまつたヘドロを回収し乾燥するまで保管しているとのこと、その数から推算するに数百トン?この後の処分も大変だろう。

また、他に目をやると漁師さんが何やら荷揚げしており、町長とそちらに近づくと「ウニの荷揚げ」をしているところでした。挨拶したりしていると親方らしい漁師さんがウニを割って、食べてみなさいと進めてくれました。

漁港の岸壁では、ウニを取り出すための道具もなくどうしたものかと悩んでいると、町長が「私たちは子供のころからこうやって食べています」と親指の爪部分を使って、ウニの身をこそぎ出して簡単に食べて見せてくれました。

私も真似をして何とか手だけで食べる事が出来ました。新鮮で磯の香りがして甘みのあるとっても美味しいウニでした。自然に笑顔が出ちゃう味です!漁師さんにお礼を言って、海岸線を幾つかの漁港

や栽培漁業振興協会を左に見ながら進みました。栽培漁業振興協会は、鮑の稚貝を津波の被害を受けた地区に供給していると聞きびつくりしました。また、港では、浚渫船が入りヘドロの回収作業を盛んに実施しており、港は、前述のフレコンバックの山であり、復旧・復興もまだ途中だと言う思いを強くしました。

次に、階上灯台を訪れ、「灯台の丘の先が岩手県ですよ」と町長に言われ、びつくり、「階上町は、青森県のはずれ、岩手県境に位置しているのだ」と言うことをしっかり認識しました。また、階上灯台のエリアが本場の「いちご煮祭り」の会場であること。震災さえなければ、ここで今年も「いちご煮祭り」が賑やかに開催されたことでしょう。町長の説明では、「いちご煮祭り」は、数万人もの人達が町内外から集まる大イベントだそうです。来年は、開催出来たら良いですね。

町長による階上町の案内は、途中御自宅に立ち寄り、奥様にご挨拶をして自家製のお土産まで頂き、そろそろ、昼時と言うことで、町長お勧めのレストラン「煉瓦亭」へ到着。八戸からも食べにくると言う海鮮料理自慢の店です。

町長の注文で出てきたのが、何とウニ丼といちご煮で、いやはや絶品です！
「二度、本場でご賞味下さい」としか言えない味で



大蛇漁港
(11:25)

す。
町長の案内は、まだまだ続き、途中「田園アート」を見ながら、寺下観音堂へうつそうとした森の中、観音堂に上るうちにひんやりと涼しい風がほほをよぎり、マイナスイオンが一杯と言った風情でした。

寺下観音堂入口近く「そば打ち名人」のお宅がありました。「東京いちご煮祭り」の時のそばは、この家の名人が打ってくれたそうです。感謝・感謝！

町長が次に案内してくれたのは、「階上岳」で、「8合目までは、車で行けますから」と町長曰く、軽快なハンドルさばきで、放牧場やキャンプ場を見ながら8合目駐車場に到着。そこからちよいと登ると緑一面の広場に出て、「天気が良いければ、ここから八戸一下北半島が一望にできますよ」と町長曰く。

下山の途中で、当会内城会長の生まれ故郷の田代地区は、あの当たりと説明があり、しっかり整備された道路を「フォレストピア階上」を横に見ながら、国道45号線に戻り、次に立ち寄ったのが「ラ・ドウルセリア美松」です。

御主人が大変に研究熱心で、「うにぼたん」や「月の恋人」等のお菓子を開発して多くの賞を受賞しているそうで、壁の棚には、賞状・盾・トロフィーがいっぱいでした。そこで、新開発の「そば粉を使ったロールケーキ」を試食させて頂きました。「甘さ控えめな品のある味」でも美味しかったです。

そうして、出発点の「道の駅」戻ってきました。3時間余りも町長を一人占めにして申し訳ないのと



ウニ丼といちご煮が絶品の
煉瓦亭 (13:00)

感謝ともう言いようがないくらい有難かった「階上町訪問」でした。
浜谷町長から、東京の「ふるさとのはしかみ会」から来た宇賀神さんと紹介頂き皆さんに暖かく迎えて頂きました。
最後に、階上町でお会いした皆さんへ

一・豆腐屋さんの元気なおばさん — 元気で頑張ってください。

二・「ラ・ドウルセリア美松」の娘さん — 新作ソフトクリーム、人気がでると思いますよ！美味しかったです。

三・大蛇港の漁師さん達 — ウニを御馳走様。諦めずに、頑張ってください！

四・煉瓦亭の御主人 — ウニ丼そしていちご煮、言葉で言えない位の美味さでした。やはり、本場は、凄い！

五・「ラ・ドウルセリア美松」のご夫妻 — そばロールケーキ、なかなか奥行きを感じる味でした。お土産も有難うございました。お元気で！

六・浜谷町長と奥様 — 突然の訪問に、快く案内をして頂き、有難うございました。また、奥様には、自家製のお土産頂き、とても美味しかったです。感謝・感謝です。浜谷町長の温かいお人柄



田園アートと
寺下観音
(13:15)

にも触れることが出来ました。

震災の復旧・復興等、まだまだ大変な毎日が続くと思いますが、町長の目指す「現場の声を大切にし、たい」を原点に頑張ってください。

有難うございました。また、お会い出来る日がありますように！

美しい自然に恵まれた「階上町」、第二の故郷が出来たような、そんな気がしながら帰路につきましました。また、是非、仲間と伺います。

2011年8月11日 宇賀神弘忠 記

会員の素顔

塩垣久美子 54歳、(株)富士経営開発センター勤務、道仏地区・東京都江東区越中島に在住。

私が階上を離れたのは、高校卒業の昭和50年でした。当時はまだ新幹線が無く、夜行の急行列車自由席で友人達とおしゃべりしながら往復をし、11時間位かかったような気がします。昼の特急はつかりでも約8時間かかりましたが、いづれにしても乗車時間が長すぎて、毎回、仙台で降りたいと思つたものでした。

苦勞？をしながら上京し、「大学を卒業したら階上に帰る！」はずだったのですが、「東京は日本の中心地、東京の会社で実地研修をしなければ…」と就活、現在の経営コンサルタンの会社にお世話になることとなり、早32年、現在に至る…です。私のような者でも長年使つて下さる経営者にはとても感謝しております。

趣味は、走ること。42歳8ヶ月の時に初めて参加した諏訪湖ハーフマラソンで残り3*から足が上がついていかなったことが悔しくて、マラソンにハマってしまいました。翌年にはフルマラソンに挑戦、5年後には100*マラソンに挑戦し完走。その頃から、沢山のボランティアの方々に支えられて走れていることを有り難いことだと思ひ、マラソン大会等で受付係や会場荷物預かり等のボランティア活動を始めるようになりました。東京マラソンもボランティアリーダーとして毎年頑張っています。

ここ数年はラン友と各地の大会に参加することと、ボランティア仲間との活動を楽しんでいます。

「ふるさととはしかみ会」は、毎月、スタッフミーティングで役員を始め参加の方々には刺激を受け、パワーを頂き、新たな力となつていきます。会の一員として、会と町のPR等、微力ながら努力して行きたいと思ひます。

今年の青梅マラソンでは、野沢副会長の御自宅がコース上にあり、内城会長・野沢副会長・濱谷さんに階上の旗と半纏で応援して頂いたのがとても有難くて、嬉しく楽しく走れました。これも「ふるさととはしかみ会」のお陰と感謝しております。応援有難うございました。



初めてのフルマラソン(長野マラソン)で完走する塩垣さん

『ふるさととはしかみ会第1回会員交流会』の予告
11月19日(土) 13時~16時
ホテルグランド市ヶ谷で決定！

昨年11月20日に設立された当会もまもなく1周年を迎えます。1周年を迎えるの第1回当会会員交流会に、オスマンサンコン氏をお迎えして、開催することに決定しましたので、ご連絡します。詳細は後日ご連絡しますので、皆さん方のご参加をお待ちしております。初めてのご参加希望者は、事務局までご連絡下さい。



当会の次回交流会への参加が成立し握手する内城会長・濱谷事務局長

イベントコーナー	
日付	東京 イベント
8/19(金)	役員会(スタッフミーティング)
9/12(月)	役員会(スタッフミーティング)
10/12(水)	役員会(スタッフミーティング)
10/30(日)	青森人の祭典 in 池袋サンシャインシティ
11/11(金)	役員会(スタッフミーティング)
11/19(土)	第1回ふるさととはしかみ会会員交流会
11/27(日)	東京都江東区・江東シーサイドマラソン
12/12(月)	役員会(スタッフミーティング)

発行日：平成23年8月15日
発行人：内城美名生
編集人：川向善美・濱谷博通
連絡先：045-633-8100
Mail: hh2010@triton.ocn.ne.jp

編集後記：
去る7月30日、東京青森県人会主催の友好団体交流会に参加して参りましたが、120名以上の方々が参加され、青森県の各市町村のふるさと会や高校の同窓会団体が多数参加されており、初めての参加で、圧倒され放してました。

ふるさととはしかみ会も設立して9か月が経過しましたが、今後は諸先輩の方々のご指導を頂きながら、あまり背伸びせず、身の丈にあった運営で、継続できるよう、粛々と個性を出しながら進めて参りたいと感じました。
次回秋季号は、11月10日発行予定